

5年生保護者の皆様

令和6年度 5学年「社会科」シラバス

学習の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指します。

評価の観点

評価の観点	内容
知識・技能	我が国の国土の地理的環境などについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる。
思考力・判断力・表現力	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、それらを説明・議論したりする。
学びに向かう力	主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりする。

評価の方法

社会の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度
- 発言、発表
- 単元テスト
- ワークシート
- ノート
- 提出物

学習計画

月	単元名	主な学習内容
4月	1 世界の中の日本の国土	・地図や地球儀、資料などを活用して調べ、日本の国土の位置や領土、世界の主な大陸や海洋、主な国の名称と位置、主な国の国旗について捉える。
5月	2 国土の気候と地形	・国土の北と南、土地の高低、季節風の向きなどによって、各地の気候に違いが生まれるということや、日本の国土は中央に産地が連なり、山がちであることを捉える。
	3 自然条件と人々の暮らし	・気候や地形などの自然条件に特色のある地方の人々の生活を自分たちの住んでいる地域の生活と比べながら具体的に調べ、国土の自然の特色や自然条件に適応して暮らしている人々の工夫や願いを捉える。
6月	4 米づくりのさかんな地域	・日本の米づくりについて調べ、食料生産に携わる人々が生産を高めるために工夫や努力をしていることや、自然環境を生かしていること、生産や輸送の費用と米の価格への影響などに目を向け、日本の米づくりの現状と課題を捉える。
7月	5 水産業のさかんな地域	・水産業がさかんな地域について調べ、その地域の自然条件や、水産業に携わる人々の工夫や願いを捉える。
8月		・水産業が、加工や運輸などの仕事と密接に関わっていることや、費用との関係、水産資源や自然環境を守りながら漁業を進めていることに気付かせ、これからの水産業のあり方を考える。
8月	6 これからの食料生産	・日本の食料生産が抱えている問題を調べ、食料を安定的に確保する必要性やこれからの食料生産のあり方について考える。
9月	7 自動車の生産にはげむ人々	・自動車の設計から組み立てまでの仕事、シート作りの仕事について調べ、工場で働く人たちの工夫や努力、願いを捉えるとともに、自動車工場と関連工場との結び付きについて気付く。
10月		・完成した自動車を運ぶ仕事について調べ、輸送に携わる人たちの工夫や努力、願いを捉えるとともに、工業生産を支える運輸の働きに気付く。
		・自動車に乗る人たちの願いについて調べ、それに応えるために利便性や安全性、環境に配慮した自動車作りが進められていることに気付く。
10月	8 日本の工業生産と貿易・運輸	・工業生産を支える貿易や海外生産の働きと、それらを通じた世界各国との結び付きについて調べ、その特色や課題を捉えることから、今後の貿易・海外生産の進め方について考えをもつ。
11月	9 日本の工業生産の今と未来 社会科見学	・盛んな工業の種類や工業地域、大工場と中小工場それぞれの生産の様子など、日本の工業の特色を捉える。 ・高い技術やアイデアを生かし、心の豊かさをもたらす工業生産が進められていることを捉えるとともに、これからの工業生産について考える。
12月	10 情報を伝える人々とわたしたち	・緊急時の情報の伝え方やニュース番組づくりを例に、情報産業やメディアの役割について調べ、情報が自分たちの生活に大きな影響を及ぼしていることを捉える。
1月	11 暮らしと産業を変える情報通信技術	・ICTを活用し、大量の情報を集め、分析する各産業の変化と、それらが人々の生活に及ぼす影響を捉える。
	12 自然災害とともに生きる	・日本では様々な自然災害が起こり、それらは国土の自然の特色と関わっていることを理解するとともに、災害から暮らしを守るための様々な取り組みについて調べ、自分たちにできる取り組みについて考える。
2月	13 森林とともに生きる	・国土の保全や水資源の涵養、地球温暖化の抑制など、人々の生活にとって重要な役割を果たしている森林資源を守るため、様々な取り組みがあることを捉えるとともに、自分たちが環境を守るためにできる取り組みや心がけについて考える。
3月	14 環境とともに守る	・北九州市で起きた公害について調べ、被害の様子や原因、公害を克服し起こさないための人々の努力や願いを捉えるとともに、国民の生活環境を守り続けていくためには、物の作り方や暮らし方も見直していく必要があることについて考える。

家庭学習でできること

- 47 都道府県パズル ○地図帳クイズ ○スーパーの商品調べ
○本などを使った調べ学習(世界の国、バーチャル工場見学、テレビ局など)